

教育しが

滋賀教育の日 11月1日

平成26年(2014年) 10月号
No.47 滋賀県教育委員会

各課連絡先(代表番号)
教育委員会事務局
〒520-8577 大津市京町四丁目1-1
教育総務課 ☎077-528-4511
学校支援課 ☎077-528-4641
教職員課 ☎077-528-4531
学校教育課 ☎077-528-4571
人権教育課 ☎077-528-4591
生涯学習課 ☎077-528-4651
スポーツ健康課 ☎077-528-4611
文化財保護課 ☎077-528-4671

滋賀県の教育情報は

滋賀県教育委員会 検索

学習習慣を身に付け主体的に学ぶ力を ～平成26年度全国学力・学習状況調査の結果から～

今年度の全国学力・学習状況調査の結果

教科の平均正答数と平均正答率 ※平均正答数(設問のうち、いくつかの問題で正解したかの平均)
※平均正答率(平均正答数を設問の数で割った値の百分率)
※A問題 主として「知識」に関する問題 B問題 主として「活用」に関する問題

学校種別	教科	滋賀県		全国	
		平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
小学校	国語A(15問中)	10.7問(71.0%)	5.3問(52.7%)	10.9問(72.9%)	5.5問(55.5%)
	国語B(10問中)	5.3問(52.7%)	12.8問(75.6%)	5.5問(55.5%)	13.3問(78.1%)
	算数A(17問中)	12.8問(75.6%)	7.2問(55.3%)	13.3問(78.1%)	7.6問(58.2%)
	算数B(13問中)	7.2問(55.3%)	24.9問(77.9%)	4.4問(48.8%)	24.0問(66.5%)
中学校	国語A(32問中)	24.9問(77.9%)	8.4問(56.3%)	25.4問(79.4%)	4.6問(51.0%)
	国語B(9問中)	4.4問(48.8%)	24.0問(66.5%)	4.6問(51.0%)	24.3問(67.4%)
	数学A(36問中)	24.0問(66.5%)	9.0問(59.8%)	24.3問(67.4%)	9.0問(59.8%)
	数学B(15問中)	8.4問(56.3%)		9.0問(59.8%)	

<滋賀県の学力向上を図る5つの視点>

- ①意見や考えを交流する授業づくりをすすめること
- ②意欲をもって学習に取り組む姿勢や態度につながる指導をすること
- ③一人ひとりのつますきに応じてきめ細かな指導をすること
- ④主体的な学びにつながるよう家庭学習を充実させること
- ⑤教職員間で課題を共有すること

滋賀県教育委員会では、昨年度の全国学力・学習状況調査の結果をもとに分析し、今、学校や子どもたちに大切なことがらを「5つの視点」としてまとめました。この視点にそって、市町教育委員会や学校と一緒に、学力向上に取り組んでいます。この視点はきわめて大切であり、今後もこの「5つの視点」にしたがって授業改善や学習習慣の改善を図っていきます。

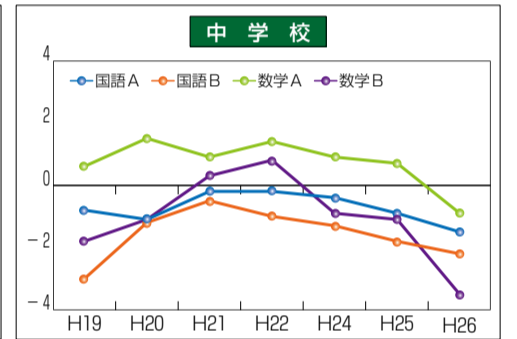
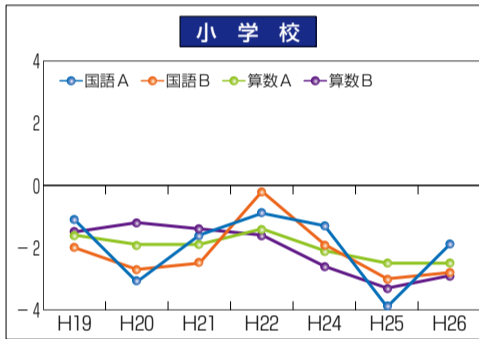


<滋賀県の平均正答率と全国平均正答率の差の移り変わり>

昨年度と比べて小学校では、算数Aの平均正答率は横ばいでしたが、それ以外のすべての教科で改善が見られました。特に、国語Aでは大きな改善が見られ、全国の平均との差が縮まっています。

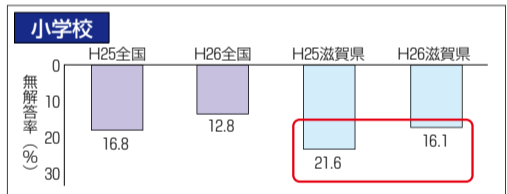
中学校では、数学A・数学Bともに平均正答率が昨年度と比べて、大きく下がっていることが課題です。また、平成22年度以降、国語A・国語Bともに徐々に全国との差が広がっていることも大きな課題です。すべての教科等の基盤になる「国語力」をしっかり身に付けることが必要です。

※右のグラフでは、グラフの縦軸の0が全国平均正答率です。0の位置からどれだけ離れているかによって、全国平均正答率との差がわかります。



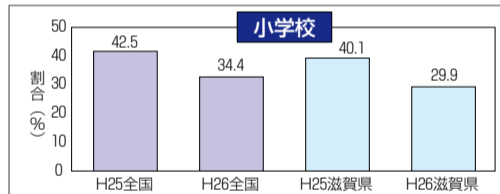
主体的に学ぶ力を育てるために これからの取組の視点

①小学校国語の記述式問題で答えを書かなかった子どもの割合



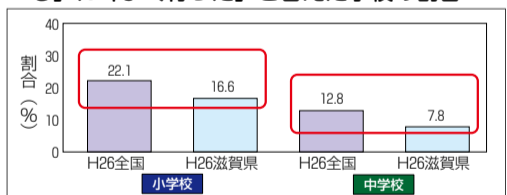
あきらめずに問題を解こうとする姿勢が伸びてきました。

②小学校国語の記述式問題の平均正答率



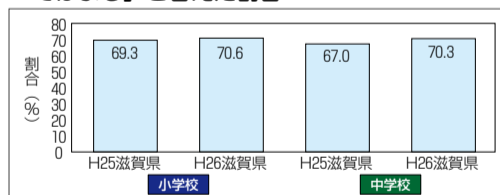
答えを書いても、それが間違っている子どもが多かったです。

③「調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与える」に「よく行った」と答えた学校の割合



調べたり、文章を書いたりしてくる宿題を与えている割合が、全国と比べて低いことがわかりました。

④「人の役に立つ人間になりたいと思う」に「当てはまる」と答えた割合



家庭や地域の中で子どもたちが活躍でき、認められる機会を作りましょう。

今年度は、小学校国語の記述式問題で答えを書かなかった子どもが減りました。これは、昨年度からの取組により、あきらめずに課題に取り組む姿勢が身に付き、問題に最後まで取り組んだ子どもが増えていると考えられます。...

しかし、国語の記述式問題の平均正答率を見ると、昨年度より全国との差が広がっていることがわかります。...

最後まであきらめずに書く力を身に付けた上で、さらに、正しく伝える書き方を身に付ける必要があります。そのためには、自分の考えたことや理由などをどのように書けば人によりよく伝わるのかをさまざまな場面で学ぶ必要があります。

毎日100字程度で自分の考えを書き、書いたものを授業で読み合うことで、うまく自分の考えを伝える書き方ができたか確かめることも大切です。

また、家庭学習も大事です。今後、学校では、これまで全国との差があった「文章を書いたりする宿題を出す」機会を増やして、家庭学習を充実させるよう取り組んでいきます。...

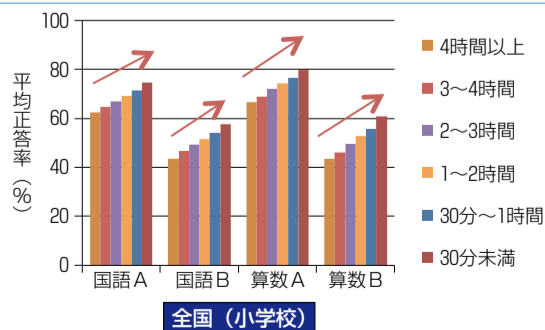
今年度、「人の役に立つ人間になりたいと思う」子どもの割合が昨年度よりも増加しています。...

家庭でも、子どもが勉強に集中してがんばれるよう、テレビを消すなどして応援してあげてください。家庭や学校で子どもたちを応援し、できたことを一緒に喜び、苦しいことでもチャレンジすることができるように子どもたちを育て、見守ることができれば、子どもたちは、自分から何ごとにも積極的に取り組めるようになり、また、「人の役に立つ人間になりたい」と思えるように成長します。

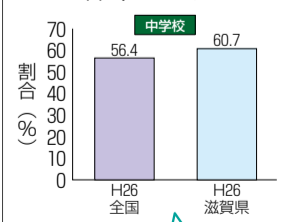
今後も、家庭や学校で子どもたちを応援することで、子どもたちの前向きな気持ちを育てていきたいと思います。

ゲームやメールの時間を決めて、自分で計画を立てて学習する習慣を身に付けましょう!

「普段(月～金曜日)、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする」時間が短いほど、教科の平均正答率が高くなっています。

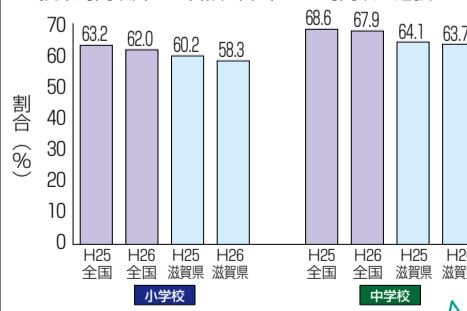


普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、スマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか。



「1時間以上する」と答えた児童の割合が、滋賀県は全国平均よりも高くなっています。

授業時間以外で、普段1日当たり1時間以上勉強する



授業時間以外で普段(月～金曜日)、1日当たり「1時間以上勉強する」と答えた児童・生徒の割合が全国平均より低く、昨年度より減少しています。



毎月19日は「育児の日」

親子で語らう時間を!

- 学校の勉強のこと、友達や仲間のこと、将来のことを親子で話す日に。
- テレビやゲームをやめて、親子で読書をする日に。

問合せ先 学校教育課 ☎077-528-4576

詳しくはこちらをご覧ください
<http://www.shiga-ec.ed.jp/manabi-shiga/>

勉強や運動を一生懸命にする習慣を身に付けることで、おなか減り、早く寝、朝早く目が覚めて元気に活動できる子どもに育ちます。その結果、テレビやゲーム、インターネットをする時間が減ることになります。子どもたちが本当に興味を持ってものごとに取り組む、自分の成長が実感できるような生活習慣を身に付けることが、子どもたちを育てるうえで大切なことです。

グラフに表れた結果から、子どもたちの生活を見直してみてもいいかもしれません。